

男子100kg級

準決勝戦第1試合

| | | |
|--------------|----|--------|
| 3本郷 光道 | 払腰 | 3野田 嘉明 |
| (フォーリーフジャパン) | | (旭化成) |

昨年のチャンピオンの本郷は、得意の足技の冴えを見せて、難なく準決勝戦に勝ち進む。対する野田も堅実な柔道で、こちらも堂々の進撃。本郷左組み、野田右組みの対戦は、開始22秒、本郷が払腰で野田を宙に舞わせて一本勝。本郷、絶好調。無敵の観を呈する。

準決勝戦第2試合

| | | |
|---------|-----|-------|
| 5森本 翔太 | 合せ技 | 西潟 健太 |
| (了徳寺学園) | | (旭化成) |

一昨年の覇者森本に、新人西潟が挑む。いずれも文句ない柔道でここまで勝ち上がる。共に右組みの両者の対戦は、パワーに勝る西潟が開始20秒、小外掛で技ありを奪い、そのまま袈裟固で抑えて、あっけなく雌雄が決す。新人西潟、堂々決勝戦進出。

決勝戦

| | | |
|---------------------|-----|-------|
| 3本郷 光道 [○] | 優勢勝 | 西潟 健太 |
| (フォーリーフジャパン) | | (旭化成) |

左右のケンカ組手の両者の対戦。序盤は組み合う度に攻守ところを変える白熱の戦いが展開された。本郷に指導2、西潟に指導1で迎えた3分35秒、場外際で本郷が最初はゆっくりと、左小内刈で西潟の左足首に自らの左足先を当て、次の瞬間鋭く刈り込めば、虚を衝かれた西潟は思わず尻餅を着いて、技ありとなる。その後は本郷が組手優位となり、3分35秒に西潟に指導2。終盤は本郷が西潟の反撃を許さずタイムアップ。本郷、足技の冴えを見せ、2年連続、3度目の優勝を遂げる。